

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県採択地区合同調査員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	社会（地図）	2	3

調査研究の観点及び各教科書の特徴

観点	基礎・基本の定着	主体的に学習に取り組む工夫	内容の構成・配列・分量	内容の表現・表記	言語活動の充実
発行者	<p>①題材や活動の取扱い・説明の仕方の工夫 ②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 ③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせるための工夫</p>	<p>④興味・関心を高めるための工夫 ⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫</p>	<p>⑥題材や資料等の配列</p>	<p>⑦学習内容との適切な関連付けがなされた地図や資料等の取扱い</p>	<p>⑧観察・調査や各種資料の活用の工夫 ⑨目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫</p>
02 東書	<p>①巻頭ページに「この地図帳の地図記号」を記載し、巻末ページの「地形図の比較」で、地図記号を示している。また、巻頭に「この地図帳の活用方法」を設けている。さらに、世界や日本的一般地図ごとに「注目したい記号」を記載している。 ②「日本の周辺」で近隣諸国を含む地理的環境を記載している。歴史的事象については、巻末の「資料さくいん」に歴史の項目を入れるとともに、日本の諸地域で、歴史に関</p>	<p>④資料についての理解を促し、考察を深められるように読図のポイントや考察の視点を示したキャラクターの吹き出しを記載している。また、「チャレンジ」で、地図を活用した学習展開例を3～4段階で示している。 ⑤世界では州ごと、日本では地方ごとに、一般図の次に基本資料とテーマ資料を掲載している。</p>	<p>⑥総ページ 183 「世界の資料図」12(7%) 「世界の諸地域」54(29%) 「日本の諸地域」58(32%) 「日本の資料図」25(14%) 「統計」10(5%) 「その他」24(13%)</p>	<p>⑦世界全図…赤道上の距離を示している。 南北アメリカ…4500万分の1 東アジア…1600万分の1 朝鮮半島…500万分の1 日本全体…550万分の1 中国地方…100万分の1 広島市周辺・岡山市周辺…50万分の1 南西諸島…550万分の1</p>	<p>⑧ヨーロッパを例にして「この地図帳の活用方法」を巻頭に記載している。一般図を記載し、国旗、ページ番号、インデックス、位置図、タイトル、さくいん記号などについての解説を記載している。「ヨーロッパ州の基本資料」「テーマ資料」を記載している。キャラクターによる吹き出しによる解説を記載している。 ⑨読図のポイントや考察の視点を示したキャラクターの吹き出しを 19 か所設けている。</p>

	<p>する資料の掲載が 7 か所ある。</p> <p>③環境については、「世界の環境②」で様々な環境問題を 2 ページにわたって取り上げるとともに、「日本の自然環境（災害・環境問題）」を 2 ページにわたって掲載している。また、「環境、防災・安全」の項目で、18 の資料を掲載している。</p> <p>国際理解については、日本と世界の結び付きに関する 15 の資料が掲載されている。</p>			
46 帝国	<p>①巻頭ページに「この地図帳の記号凡例」を記載し、「国土地理院の地形図を読み取ろう」で、「地形図の主な記号」を記載している。また、巻頭に「この地図帳の使い方」を設けている。さらに、地図を見る上での着眼点を示した「地図を見る目」を記載している。</p> <p>②「日本の位置と周りの国々」で近隣諸国を含む地理的環境を記載している。歴史的事象については、日本の諸地域で、歴史に関する資料の掲載が 14 か所ある。</p> <p>③環境については、「世界の環境問題」「日本の地形と守りたい自然環境」「日本の災害と防災」をそれぞ</p> <p>④地図活用のスキルが身に着くよう、また、地図への着眼点が理解できるように、地図を見る上での着眼点を示した「地図を見る目」、地図から読み取る学習活動や言語活動を促す「やってみよう」を記載している。</p> <p>⑤世界では州ごと、日本では地方ごとに、基本図の次に資料図を掲載している。</p>	<p>⑥総ページ 176</p> <p>「地図の使い方と世界の資料図」 15 (9 %)</p> <p>「世界の諸地域」 56 (32 %)</p> <p>「日本の諸地域」 64 (36 %)</p> <p>「日本の資料図」 17 (9 %)</p> <p>「統計」 9 (5 %)</p> <p>「その他」 15 (9 %)</p>	<p>⑦世界全図…1 億 1600 万分の 1, 赤道上の長さを示している。</p> <p>南北アメリカ…4500 万分の 1</p> <p>東アジア…1600 万分の 1</p> <p>朝鮮半島…300 万分の 1</p> <p>日本列島…400 万分の 1</p> <p>中国地方…100 万分の 1</p> <p>広島市周辺…50 万分の 1</p> <p>南西諸島…400 万分の 1</p>	<p>⑧オーストラリアを例にして「この地図帳の使い方」が巻頭に記載している。一般図を記載し、ページのタイトルと縮尺、隣接ページ、さくいん記号、インデックス、緯線、経線、学習課題、記号の凡例などについての解説を記載している。「オセアニア州の資料図」についての解説を記載している。囲み文やキャラクターによる吹き出しによる解説を記載している。</p> <p>⑨地図から読み取る学習活動や言語活動を促す「やってみよう」というコーナーを 47 か所設けている。</p>

	れ2ページにわたって掲載している。また、環境問題に関する9の資料を掲載している。さらに、防災に関する4つの資料を掲載している。国際理解については、「日本との結び付き」として、11の資料を掲載している。			
--	--	--	--	--